

# Simplex

Asset Management

2022年12月期（2021年12月5日～2022年12月4日）決算短信

2023年1月12日

上場取引所 東証

ファンド名 中国H株ベア上場投信  
 コード番号 1573  
 連動対象指標 ハンセン中国企業株ショート指数  
 主要投資資産 公社債  
 売買単位 10口  
 管理会社 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社 URL <http://www.simplexasset.com/>  
 代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅  
 問合せ先責任者 業務本部 山口 節一 TEL (03)5208-5211

有価証券報告書提出予定日 2023年3月3日  
 分配金支払開始予定日 分配金のお支払いはございません

## I ファンドの運用状況

### 1. 2022年12月期の運用状況（2021年12月5日～2022年12月4日）

#### (1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	466	( 68.0)	219	( 32.0)	686	(100.0)
2021年12月期	429	( 67.2)	209	( 32.8)	639	(100.0)

#### (2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
2022年12月期	77	15	30	62
2021年12月期	77	20	20	77

#### (3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	10口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数) × 10)
	百万円	百万円	百万円	円
2022年12月期	735	49	686	110,660
2021年12月期	644	4	639	83,010

#### (4) 分配金

	10口当たり分配金
	円
2022年12月期	0
2021年12月期	0

(注) 分配金は売買単位当たりの金額

### 2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 無

## Ⅱ 財務諸表等

## (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第9期 (2021年12月4日現在)	第10期 (2022年12月4日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	86,229,912	115,268,790
コール・ローン	164,364	5,666,307
国債証券	429,751,634	466,518,511
派生商品評価勘定	21,618,450	-
前払金	63,878,101	78,790,047
差入委託証拠金	42,468,610	69,459,470
流動資産合計	644,111,071	735,703,125
資産合計	644,111,071	735,703,125
<b>負債の部</b>		
流動負債		
派生商品評価勘定	168,810	44,055,196
未払受託者報酬	155,707	172,953
未払委託者報酬	2,491,250	2,767,225
未払利息	-	40
その他未払費用	2,148,146	2,588,973
流動負債合計	4,963,913	49,584,387
負債合計	4,963,913	49,584,387
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	770,000,000	620,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△130,852,842	66,118,738
(分配準備積立金)	△107,794,540	△118,152,463
元本等合計	639,147,158	686,118,738
純資産合計	639,147,158	686,118,738
負債純資産合計	644,111,071	735,703,125

## （2）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第9期 （自 2020年12月5日 至 2021年12月4日）	第10期 （自 2021年12月5日 至 2022年12月4日）
営業収益		
受取利息	-	222,557
有価証券売買等損益	179,153	3,658,766
派生商品取引等損益	71,743,764	49,704,945
為替差損益	48,580,007	83,010,792
その他収益	363,792	601,921
営業収益合計	120,866,716	137,198,981
営業費用		
支払利息	1,479	1,499
受託者報酬	293,061	336,226
委託者報酬	4,688,861	5,379,546
その他費用	4,699,737	5,465,130
営業費用合計	9,683,138	11,182,401
営業利益又は営業損失（△）	111,183,578	126,016,580
経常利益又は経常損失（△）	111,183,578	126,016,580
当期純利益又は当期純損失（△）	111,183,578	126,016,580
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	-	-
期首剰余金又は期首欠損金（△）	△253,746,420	△130,852,842
剰余金増加額又は欠損金減少額	53,280,000	74,535,000
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	53,280,000	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	74,535,000
剰余金減少額又は欠損金増加額	41,570,000	3,580,000
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	3,580,000
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	41,570,000	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△130,852,842	66,118,738

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

<p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p>	<p>国債証券 個別法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の最終相場）で評価しております。 計算期間末日に当該金融商品取引所等の最終相場がない場合には、当該金融商品取引所等における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該金融商品取引所等における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融機関の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法</p>	<p>株価指数先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>為替予約取引 原則としてわが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
<p>3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。</p>

(会計方針の変更に関する注記)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当期首から適用し、時価算定会計基準第19項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。これによる、財務諸表への影響は軽微であります。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第9期(2021年12月4日現在)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

第10期(2022年12月4日現在)

同上

中国H株ベア上場投信（1573）2022年12月期決算短信

（貸借対照表に関する注記）

区分	第9期 (2021年12月4日現在)	第10期 (2022年12月4日現在)
1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額	期首元本額 770,000,000円 期中追加設定元本額 200,000,000円 期中解約元本額 200,000,000円	期首元本額 770,000,000円 期中追加設定元本額 150,000,000円 期中解約元本額 300,000,000円
2. 受益権の総数	77,000口	62,000口
3. 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っている差額 130,852,842円	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っている差額 -

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第9期 (自2020年12月5日 至2021年12月4日)	第10期 (自2021年12月5日 至2022年12月4日)
1. 分配金の計算過程		
A 当ファンドの配当等収益額	362,313円	822,979円
B 分配準備積立金	△98,475,194円	△107,794,540円
C 配当等収益額合計 (A+B)	△98,112,881円	△106,971,561円
D 経費	9,681,659円	11,180,902円
E 収益分配可能額 (C-D)	-円	-円
F 収益分配金額	-円	-円
G 次期繰越金(分配準備積立金) (E-F)	△107,794,540円	△118,152,463円
H 口数	77,000口	62,000口
I 分配金額(1口当たり)	-円	-円
2. その他費用	主に印刷費用、上場関連費用及びライセンス料であります。	同左

(金融商品に関する注記)

## I 金融商品の状況に関する事項

項目	第9期 (自 2020年12月5日 至 2021年12月4日)	第10期 (自 2021年12月5日 至 2022年12月4日)
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託として、投資信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対する投資として運用することを目的としています。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>当ファンドが運用する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であり、公社債および株価指数先物取引を主要投資対象としております。</p> <p>これらは、価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク、及び流動性リスクに晒されております。</p> <p>当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該為替予約取引は、ごく短期間で実際に外貨の受渡しを伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。</p>	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>委託会社においては、運用関連部門から独立した部門であるリスク管理統括本部が各リスクの管理を行っております。</p> <p>リスク管理統括本部は、定期的に各部署からモニタリングの結果の報告を受け、必要に応じて関係部署より意見を求め、リスク状況を取りまとめ、その結果を取締役社長に報告します。また、必要に応じて取りまとめ結果を取締役会に報告をします。</p>	同左

II 金融商品の時価等に関する事項

項目	第9期 (2021年12月4日現在)	第10期 (2022年12月4日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 「注記表（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算出された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	第9期 (2021年12月4日現在)	第10期 (2022年12月4日現在)
	当計算期間の損益に含まれた評価差額	
国債証券	46,808	1,268,131
合計	46,808	1,268,131

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(株式関連)

第9期（2021年12月4日現在）

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	662,119,595	—	640,662,932	21,456,663
合計		662,119,595	—	640,662,932	21,456,663

第10期（2022年12月4日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	643,490,327	—	687,545,523	△44,055,196
合計		643,490,327	—	687,545,523	△44,055,196

(注)1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。  
このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおります。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(通貨関連)

第9期（2021年12月4日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場外取引	為替予約取引				
	売建	4,800,000	—	4,807,023	△7,023
	香港ドル	4,800,000	—	4,807,023	△7,023
合計		4,800,000	—	4,807,023	△7,023

(注)時価の算定方法

1. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
  - (1) 計算期間末日において為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
  - (2) 計算期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
    - ① 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
    - ② 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
2. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。



中国H株ベア上場投信（1573）2022年12月期決算短信

第10期（2022年12月4日現在）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報に関する注記）

第9期 (2021年12月4日現在)	第10期 (2022年12月4日現在)
1口当たりの純資産額 8,301円	1口当たりの純資産額 11,066円